

# けんざい

Japan Building Materials Association

🏠 社団法人 日本建築材料協会

<http://www.kenzai.or.jp>

# 219

隔月発行 2008年7月20日発行



ほたるまち

特別講演

**「今後の住宅産業のあり方について」**

経済産業省製造産業局 住宅産業窯業建材課 企画官 廣瀬 毅

会員企業の横顔

**株式会社 久我**

SPIRIT

**「都市計画が街や人を温かくする～バルセローナから」**

株式会社タジュール代表取締役・建築家・インテリアデザイナー 中村 雅子

# けんざい 219

## CONTENTS

- 2 特別講演「今後の住宅産業のあり方について」  
経済産業省 製造産業局 住宅産業課 建築建材課 企画官 廣瀬毅
- 7 SPIRIT  
「都市計画が街や人を温かくする～バルセローナから」  
株式会社タジェール 代表取締役・建築家・インテリアデザイナー 中村雅子
- 8 会員企業の横顔―第35回  
株式会社 久我
- 10 暑中お見舞い申し上げます
- 16 新製品&注目製品情報  
「スカイトップ免震 I 型・II 型」 トライエンジニアリング株式会社  
「レリーフアートシリーズ」 大建工業株式会社  
「冷陰極蛍光ランプ(CCFL)」 株式会社 久我  
「メジテープ」 日新工業株式会社
- 20 「建材・住宅設備産業取引ガイドライン」説明会  
■基調講演「『建材・住宅設備産業取引ガイドライン』について」  
経済産業省 製造産業局 住宅産業課 建築建材課 技官 山本晃平  
■解説「『建材・住宅設備産業取引ガイドライン』と下請法」  
川越法律事務所 弁護士/弁理士 高橋善樹
- 26 GBRC便り 財団法人日本建築総合試験所提供  
試験方法紹介：「壁紙」の品質試験
- 30 健康住宅を考える／第50回 NPO法人日本健康住宅協会提供  
住戸形式による「音の伝わり方」の実態調査(3)
- 32 協会だより  
本部および各地の支部で、総会および懇親会が開催されました。  
平成20年度加古川市家屋評価部材別研修会を開催しました。  
新入会員紹介
- 36 私の建築探訪／第56回 ほたるまち  
レポーター：株式会社 久我 森井恭子
- 40 編集談話室



表紙：ほたるまち(大阪市福島区)

堂島川となにわ筋に面した旧・阪大病院の跡地約2.1haの複合再開発事業である。多目的ホールや超高層マンション、商業施設、放送局などで構成される街のキーワードは「情報発信」「にぎわい」「都心居住」。川面に映える景観の美しさ、心地よい水辺の眺望からは、水都・大阪の再生を願う関係者の思いが伝わってくるようだ。(関連記事：P36)



## 都市計画が街や人を温かくする～バルセローナから

中村 雅子 (株式会社タジェール 代表取締役・建築家・インテリアデザイナー)

なかむら・まさこ：1960年東京生まれ。〈Casappo&Associates〉〈Plastic Studio&Associates〉等のインテリアデザイン事務所に勤務後、29歳で独立。その後3年間バルセローナへ移住。ヨーロッパの建築を巡礼する。現在は杉並区で活動。2007年株式会社タジェールへ改組。個人邸から商業施設、オフィスビルなどの設計監理業務に従事。一男一女の母。海外歴訪は30か国近い。社団法人日本建築家協会および社団法人建築学会所属。

### ■バルセローナの魅力～ランブラ(散歩)

地中海沿岸、最大の都市であるスペイン・バルセローナは人口≒180万人。

広さは東京都の世田谷・杉並・中野3区を足した面積に等しい。わが杉並区の人口が53万人であるから人口密度もおおよそ同じである。

なにより都市がわかりやすい。北に山、南に海そして東西が川で囲まれている。

道路も縦・横を基準とし、斜めの大通りがDiagonal通り(ディアゴナル=スペイン語で“斜め”)。住居表示は道路の右側が奇数、左側が偶数と振り分けられており、住所を聞いただけで場所がすぐ分かる。ただし旧市街は他のヨーロッパの都市同様、縦横の構成ではないが。

その都市計画は、スペイン総統フランコ没後の1975年、カタルーニャ建築家オリオル・オイガスの手で基本的な街づくりが始まったとされている。

Ramblas通り(ランブラス=スペイン語で“遊歩道”)、ランブラ・デ・カタルーニャなどに代表される“歩くための通り”は、道路の半分以上が歩道として真ん中にある。

左右対称の空が広がる通りを散歩する心地よさを、バルセローナ暮らしで初めて味わった。

もちろん、その散歩道には休憩のためのベンチ、木陰をつくるオレンジやレモンの木、グッドデザインの車止めなどが周到に配置されている。

それらがバルセローナ市役所・都市計画課主導の都市デザインというから驚きだ。

建築家・彫刻家・様々なアーティストにより街が作られている。

ゴミ箱ひとつから道路のバリアフリーの低い縁石、海辺のシャワースタンドなど、それら全てに手抜きがない。

規模的に統治しやすい大きさだからであろうが、街全体にそういった配慮があるのでお年寄りも街に気軽に出てランブラ=散歩する。

街が市民に愛されている。

私も当地で2番目の息子を出産し子育て中は家にいるより街に出て、ベビーカーを押しながらランブラを愉しんだ。

子供を連れていくと必ず声を掛けられる。「かわいい～！お名前は？」から始まりベンチに腰かけてのおしゃべり。

その横でご老人がチェスに興じている。そんな風景が日常のバルセローナである。

「都市計画が街や人を温かくする」と私は思う。



随所にベンチやプランターが置かれた”歩くための通り”の一つ、ランブラ・デ・カタルーニャ

### ■バルセローナのことば

スペイン人がよく使う言葉を紹介します。いつか、あなたがバルセローナを訪れる日のために。

「poco a poco ポコ・ア・ポコ」

少しずつ少しずつ・・・ゆっくり進んでいこう

「mas o menos マス・オ・メノス」

多かれ少なかれ(大同小異)・・・大体そんなもんだ

「ese igual エセ イグアール」

同等なこと・・・どちらでも同じだよ(細かなことは気にしない)

「vivir bien ビビール ビエン」

(正直に)暮らす・・・目先の違いにこだわらず ゆっくり確実に人生を愉しもうよ

株式会社タジェール <http://homepage3.nifty.com/taller/>